

21世紀 COE「流動ダイナミクス国際研究教育拠点」

平成17年度 国際宇宙大学サマーセッション派遣 報告書

平成 17年 9月 6日

氏名	吉永 健太郎		
所属	工学研究科航空宇宙工学専攻 博士課程後期1年		
指導教官名	流体科学研究所 極限流研究部門 極限反応流研究分野 教授 小林 秀昭		
派遣期間	平成 17年 6月 15日 ~ 平成 17年 8月 29日		
派遣先(施設名/都市名/国名)	ブリティッシュコロンビア大学/バンクーバー/カナダ		
派遣期間中における主な訪問先	ビクトリア島		
参加人数	99(内日本人 2名)	参加国数	26国
参加チームプロジェクト	Fire Logistics And Management Approach		
著名な講演者	James Burke(アメリカで最初に月面に到達した宇宙機 Ranger の初代プロジェクトマネージャー), Peter Diamandis(X Prize 財団の会長), 向井千秋(日本初の女性宇宙飛行士)		
派遣期間中の協賛学会等への参加	なし		
<p>国際宇宙大学(ISU)のサマーセッションプログラム(SSP05)は,カナダのバンクーバーで行われました.コアの部分は9週間,その前後を含めて11週間たらずでしたが,非常濃密なスケジュールが組まれており,一日が非常にながく感じた11週間でした.</p> <p>SSP では,非常に特殊な環境におかれまます.上記にあるとおり,世界各国から私のような学生をはじめ,NASA や ESA のような宇宙機関やそれに連なる企業から第一線で働く人たちが参加しており,また法律や経営といった私になじみのない分野の第一線の研究者も参加しています.年齢も20代から40代まで様々です.それらの人達と寝食をともにし,色々語り合ったことは私にとっては得がたい経験でした.もちろん一つのプロジェクトを遂行するに当たり,文化の違いや言葉の壁に悩まされたことも度々ありましたが,これもいい経験であったと思います.このような経験は,普通の留学では経験できないことだと思います.SSPを通して,自分の視野が広がったような気がします.</p> <p>プログラムを終えた今,私には世界中に友達がいます.また ISU の卒業生ネットワークは非常に充実しており,毎日メールが飛び交っています.この度の SSP の経験を今後の研究活動に生かして生きたいと思っています.</p>			



ロケット打ち上げの様子



全学生集合写真